

色鮮やかな選択おやつ！

～高槻ともしび苑～

6月17日穏やかな午後のひととき、高槻ともしび苑で選択おやつのお楽しみイベントがありました。
 選べるおやつは地元高槻の人気和菓子店「薩喜庵」さんの素敵な練り切りと、モロゾフのプリン
 優しい甘さにほっこりしながら、皆さまとても美味しそうにお召し上がりになりました！



優雅な色合いと季節の造形が魅力の練り切りは「目で味わうお菓子」とも言われますが、お味も一流の素晴らしいお菓子です☆
 一口召し上がり「美味しいわ～」と自然にお顔がほころび、お喋りに花が咲いていました(^ ^)

なるべく綺麗に切ろうとソーっと慎重にスプーンを近づけておられました☆



職人さんの技が光る美しい練り切りと
 素朴な卵の風味が大人気のプリン



美味しいおやつ、美しいおやつは、それだけで心が華やぎ、日々の生活に喜びと潤いをもたらしてくれます(^ ^)

職員インタビューコーナー

看護師になったきっかけ

中学生の時に生徒会で保健委員長をしており、当時の先生から「看護の勉強ができる学校がある」と教えてもらったことと、叔父からの「これからの時代は手に職をつけるべき」という言葉がきっかけです。
 中学校卒業後は、週に3日外科医院で注射器の滅菌作業や手術後の片付けといった仕事をしながら看護の勉強ができる4年制の定時制高校に通いました。仕事と学校の両立は大変でしたが「やり切ろう」という想いで、高校4年生19歳の時に准看護師免許を取得することができました。
 その後、別の病院で働きながら看護専門学校に3年間通って正看護師免許を取得。介護保険制度が始まってから勤務先の病院に来るケアマネジャーと関わるうちに福祉に興味を抱き、30歳を迎えたタイミングで高槻ともしび苑へ転職しました。

高槻ともしび苑に入職して

入職後は特養の医務室に配属となり、入職から3か月間は入居者の顔と名前を覚える為に介護職員と一緒に介護の仕事に従事したのですが、そのおかげでリフトが使いこなせるようになったり、入居者の生活を支える上で大切な事をたくさん吸収できたことは今でも様々な場面で役に立っています。看護業務をするようになってからは、医師の指示の元で動く病院とは違い、自分の判断が入居者の生死に大きく関わることになるので毎日気を引き締めていました。
 当時は入居者の機能訓練も担っていましたので、自己学習しながら身体機能の維持、向上に努め、2007年4月からはデイサービスセンターの看護師として、利用者様の小さな変化も見落とさないように日々励んでいます。

やりたいこと

「やりたい」気持ちに添えていただいた感謝になります。1人の職員の「メダカを飼いたい」から始まったデイサービスフロアでの魚の飼育が、メダカ、金魚、グッピーと広がって今では水槽が2つになりました。職員の想いを尊重してもらえたことで、水槽前で利用者様と和やかに話す事が増えましたので、末永く鑑賞していただけるように引き続きお世話を頑張ります！

大切にしていること

感情をコントロールすることです。
 「仕事は仕事」と割り切る、もしもイライラしてしまったら違うことを考えたり、水槽のグッピーに話しかけて一息ついています。
 体調があまり良くない日も自分で気合いを入れて乗り切るなど、利用者様が不安になったり困惑するような振る舞いはしないように気を付けています。



高槻ともしび苑デイサービスセンター 看護師
 花垣 浩美さん

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は運動に備えて買い物に行っておいたり、弁当の作り置き用に調理をすることも多いですが、ふと日帰りで京都や神戸に行ったりもします。神戸の中華街では美味しい中華を食べることは勿論、中華街の中は犬と一緒に歩けるので、愛犬を連れて行って家族で楽しみました☆
 ストレス対処については、寝ると忘れるタイプなので特別なことはしていません。寝る事が大好きなのでしっかりと睡眠を取り、休日も昼寝のできそうな時は昼寝をしてスッキリしています。また、職場の上司も話を聞いてくれるのでストレスを抱え込むことはありません。

未来の自分

看護実習生の時に担当した患者様のご家族に「辞めないでがんばって。良い看護師さんになってね」とのお言葉をいただいて、その言葉通り辞めずにここまで来ました。
 定年を迎えるその日まで、引き続き目の前の業務に真剣に向き合い誠実に職務を全うしたいと思えます。少し気が早いですが、定年後は好きな事、やりたかった事に時間を使いながら、自由に生き生きと過ごしたいです♪